

# 怖いぞ！怒る鬼平、叱る鬼平

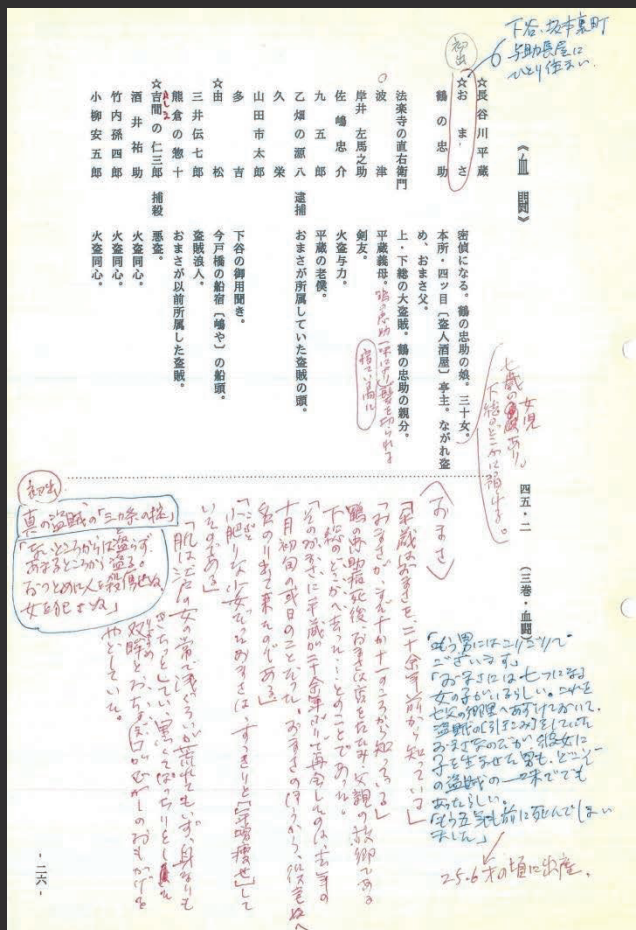
## 「鬼平お名前帖」を作った編集者が語る池波正太郎

池波正太郎の代表時代小説『鬼平犯科帳』（文藝春秋）は全135編・番外1編の短・中編読切り連作です。

大きな特徴は、名前を与えられた登場人物の多いこと。おそらく3000人を超えていると思われます。このことで連載数年後に問題が発生します。死んだはずの盗賊・密偵などが元気に「再登場」してしまうことです。とはいえ、盗人・密偵の名前にはなんともいえぬニュアンスが込められているので安易な変更はできません。

そこで、作者が連載当初からの原稿を読み返す手間をはぶくために作ったのが手製「お名前帖」です。よくもこんな「名前」を考えつくものだと今さら驚くばかりですが、池波の生前をふり振り返りながらその肉声の一端をご紹介できれば幸いです。わたしは今でも池波からの怒声・叱り声を思い出し背筋を震わせます。

参考までに「お名前帖」の一部（複写）をお持ち帰りいただきます。



2019年 6月26日 (水)

19:00~20:30 (18:30開場)

千代田区立日比谷図書文化館  
地下1階 日比谷コンベンションホール (大ホール)

定員 200名 (事前申込順、定員に達し次第締切)

参加費 1000円 (千代田区民500円) 千代田区民の方は当日住所の確認ができるものをお持ちください



名女川 勝彦 (なめかわ かつひこ) 元株式会社 文藝春秋取締役

1946年東京生まれ。早稲田大学卒業後1969年株式会社文藝春秋入社。「週刊文春」、「オール讀物」の編集を経て子会社のネスコへ出向、編集・経営全般に携わる。後に文藝春秋に戻り、取締役営業担当、社長付渉外担当を歴任。社団法人日本雑誌協会の分会委員長も務めた。「オール讀物」時代に池波正太郎と出会い、終生付き合いを続ける。池波のために『鬼平犯科帳』に登場する人物の名簿＝「鬼平お名前帖」を作った編集者として業界でも有名である。

### お申込み方法

- ①ホームページの申込みフォーム
  - ②お電話(03-3502-3340)
  - ③ご来館(1階受付)
- いずれかにて参加希望の講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をお知らせください。

小学生以下のお子様に参加される場合、保護者の同伴が必要です。(同伴者の方にも参加費が必要です。)

主催 千代田区立日比谷図書文化館  
千代田区日比谷公園1-4

<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

都営地下鉄 ●三田線「内幸町駅」  
A7出口/徒歩3分

東京メトロ ●丸の内線 ●日比谷線「霞ヶ関駅」  
B2出口/徒歩3分

東京メトロ ●千代田線「霞ヶ関駅」  
C4出口/徒歩3分

JR「新橋駅」  
日比谷口(SL広場)/徒歩10分

